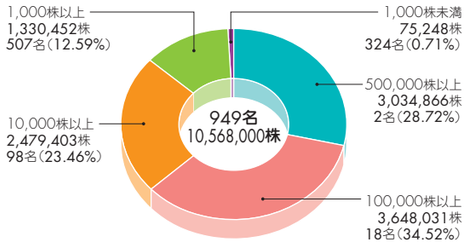
株式の状況（平成22年9月30日現在）

■ 発行可能株式総数　45,568,000株
■ 発行済株式の総数　10,568,000株
■ 株主数　949名
■ 大株主（上位10名）

株主名	当社への持株状況	
	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	866(千株)	10.31 (%)
株式会社みずほ銀行	414	4.93
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	405	4.82
株式会社三井住友銀行	380	4.52
ヤギ従業員持株会	325	3.88
第一生命保険株式会社	250	2.98
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	249	2.97
立花証券株式会社	247	2.94
クロスプラス株式会社	214	2.55
株式会社千趣会	155	1.85

（注）持株比率は自己株式（2,168,466株）を控除して計算しております。

■ 所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当　3月31日 中間配当を行うときは9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120－78－2031（フリーダイヤル） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.yaginet.co.jp/ir/denshikoukoku.html

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 ヤギ

〒540-8660　大阪市中央区久太郎町二丁目２番８号
http://www.yaginet.co.jp/

2010

第99期

中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

YAGI

証券コード 7460

社長挨拶

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当社は平成22年9月30日をもって第99期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の前半を終了しましたので、ここに経営成績とともに事業概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果により一部に緩やかな回復基調が見られたものの、円高・株安傾向などの不安材料から先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界におきましても、依然として厳しい雇用・所得情勢から消費者の節約・低価格志向が続き、期間前半の低気温や夏期の猛暑などの天候不順も影響し、消費環境は回復の兆しを見ることなく低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、加工開発力と企画提案力を強化し高付加価値商品の拡販を進め、高品質・短納期・適正価格に対応する機能を向上させ、優良取引先との取り組み深耕と新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、当中間期の売上高は526億6千4百万円（前年同期比3.5％増）、営業利益は16億1千9百万円（前年同期比38.0％増）、経常利益は15億6千1百万円（前年同期比22.1％増）、中間純利益は8億9千万円（前年同期比26.7％増）と増収増益とすることができました。

通期につきましても、引き続き経営環境は厳しいものと思われます。当社グループといたしましては、企画精度に磨きをかけ、得意・強みとする分野・商品をより強化し、安定した収益基盤を構築してまいります。

今後も株主の皆様のご期待にお応えすべく、企業価値の向上と経営体制の強化に努めてまいりますので、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
八木秀夫

通期の業績予想

今後の経済見通しにつきましては、海外景気の先行き不透明感が払拭されず、為替・株価動向により国内景気もさらに後退することが懸念されます。

繊維業界におきましても、景気動向の不透明感から、デフレの影響、雇用・所得環境の悪化懸念により個人消費の回復の兆しが見られず、厳しい経営環境が続くものと思われます。

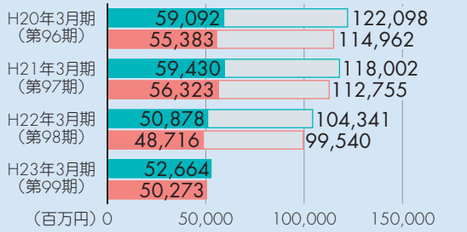
こうした中で当社グループは、原料・テキスタイル・繊維二次製品の各部門におきまして、機能素材や差別化加工の開発を進め、高付加価値商品の拡販に注力してまいります。また、衣料分野・非衣料分野ともに、高品質・短納期・適正価格に対応する機能強化に加え、さらに企画提案力を向上させ、優良取引先との取り組み深耕と新規顧客開拓を進めてまいります。

これらの結果、当社グループの通期の業績予想につきましては前回公表予想を修正せず、売上高は1,050億円、経常利益は25億円、当期純利益は14億7千5百万円を達成できる見込みであります。

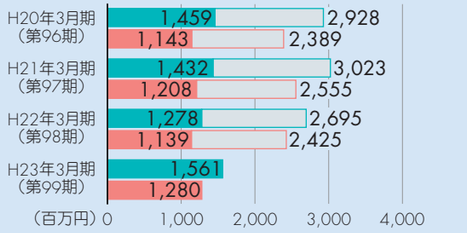
平成22年11月

財務ハイライト

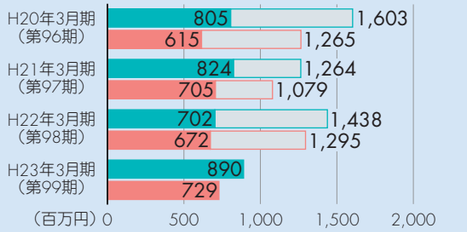
売上高



経常利益



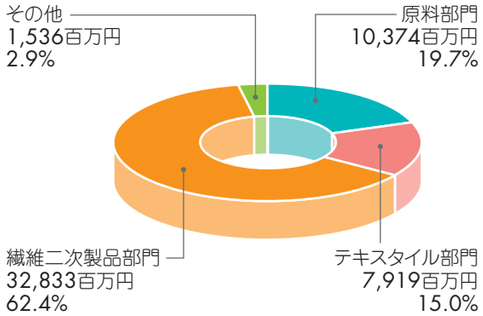
中間（当期）純利益

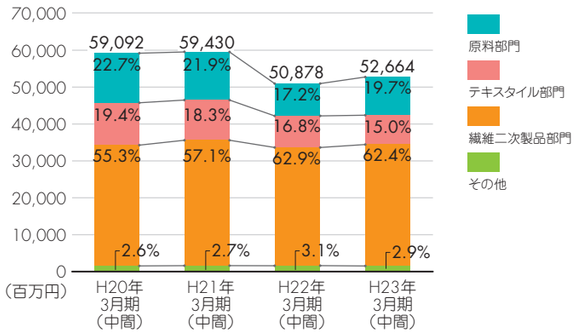


本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINETや東証適時開示情報閲覧サービスおよび当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

部門別の概況

部門別売上高構成比　平成23年3月期中間



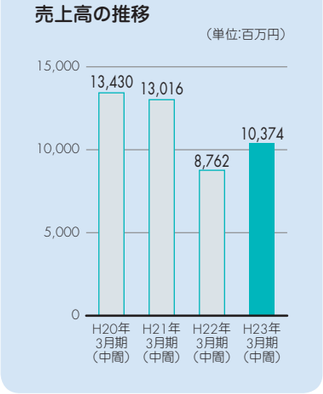


原料部門

原料部門では、天然繊維分野において綿糸価格が上昇を続ける反面、衣料用途での需要は不振が続き、産地は縮小を続けております。合成繊維分野でも同様に衣料用途は低調に推移しましたが、資材用途では高機能加工糸などを中心に回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、高機能糸などの拡販に注力し、優良取引先との取り組み強化に努め、資材用途での高付加価値商品の拡販を推し進めました。

この結果、原料部門は売上高103億7千4百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

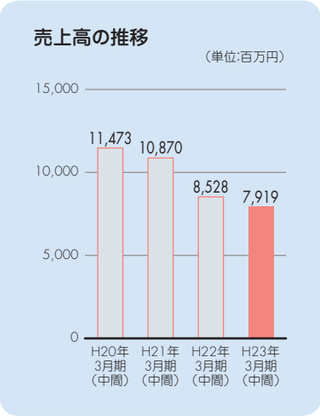


テキスタイル部門

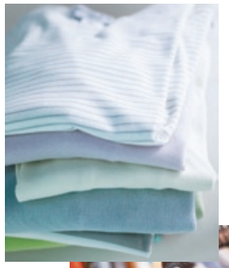
テキスタイル部門では、消費不振により販売価格・販売量ともに回復せず、原料高を販売価格に転嫁することも困難で厳しい環境で推移しました。機能素材等の輸出分野でも円高の影響で採算悪化が続いております。

このような状況の下、当社グループは、商品力・品質力・QR（クイック・レスポンス）対応力を強化し拡販に注力してまいりました。また、引き続き主力の販売戦略である「テキスタイル・プロジェクト」での効率化を進めてまいりました。

この結果、テキスタイル部門は売上高79億1千9百万円（前年同期比7.1%減）となりました。



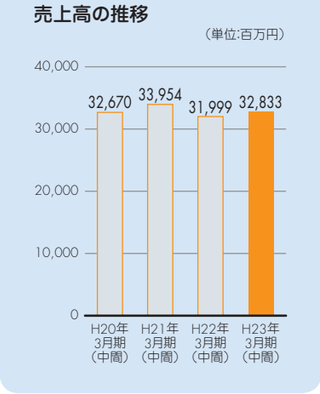
繊維二次製品部門



繊維二次製品部門では、衣料分野・非衣料分野ともに、依然として販売量の減少と消費者の低価格志向が続き低調に推移しております。また、主たる生産国である中国での労働力不足や電力の供給調整などが生産力低下の深刻化を招き、納期遅れや品質問題へと波及するなど、販売・生産ともに厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、ODM（企画段階から請け負い、製造、供給する）生産への取り組みを進展させるなど企画提案力を強化し、優良取引先との取り組み深耕と新規顧客開拓に注力してまいりました。また、中国における生産拠点の確保と管理の徹底に努めるとともに、国内外を問わず、中国以外での生産拠点の開発を進めてまいりました。

この結果、繊維二次製品部門は売上高328億3千3百万円（前年同期比2.6%増）となりました。



中間連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科目	平成23年3月期中間（平成22年9月30日現在）	平成22年3月期（平成22年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	38,248,686	36,375,655
固定資産	9,386,075	9,987,155
有形固定資産	4,113,341	4,216,077
無形固定資産	59,000	71,656
投資その他の資産	5,213,732	5,699,420
資産合計	47,634,762	46,362,810
（負債の部）		
流動負債	23,533,708	22,121,049
固定負債	2,430,892	2,713,070
負債合計	25,964,600	24,834,119
（純資産の部）		
株主資本	21,237,529	20,683,312
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	20,972,757	20,418,406
自己株式	△ 1,628,417	△ 1,628,282
評価・換算差額等	427,983	840,908
少数株主持分	4,648	4,469
純資産合計	21,670,161	21,528,690
負債・純資産合計	47,634,762	46,362,810

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

科目	平成23年3月期中間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）	平成22年3月期中間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）
売上高	52,664,093	50,878,163
売上原価	45,788,169	44,742,907
売上総利益	6,875,923	6,135,256
販売費及び一般管理費	5,256,353	4,961,347
営業利益	1,619,569	1,173,908
営業外収益	112,625	204,455
営業外費用	170,911	99,421
経常利益	1,561,283	1,278,942
特別損失	37,535	—
税金等調整前中間純利益	1,523,748	1,278,942
法人税等	633,209	575,989
少数株主利益	201	129
中間純利益	890,337	702,823

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

科目	平成23年3月期中間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	897,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 263,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 739,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10,670
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 116,580
現金及び現金同等物の期首残高	2,782,479
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,665,899

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要（平成22年9月30日現在）

社名　株式会社　ヤ　ギ
英文社名　YAGI & CO.,LTD.
創業　明治26年10月16日
設立　大正７年４月28日
資本金　1,088,000,000円
主要な事業内容　綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地および衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
主要な事業所
（国内）本店　大阪市中央区久太郎町二丁目２番８号
支店　東京（東京都中央区）、福井（福井市）
出張所　名古屋（名古屋市）
営業所　和歌山（和歌山市）
（海外）駐在員事務所　上海（中国）、青島（中国）、広州（中国）
ジャカルタ（インドネシア）
統括事務所　アセアン（タイ）
代理店　ミラノ（イタリア）
イスタンブール（トルコ）

役員

代表取締役社長　八木秀夫
代表取締役専務取締役　朝野幸博
常務取締役　大嶋平
取締役　中根巖
取締役　備酒聡
取締役　野間省司
監査役（常勤）　相倉俊彦
監査役　髙田喜代隆
監査役　國分友信

（注）監査役髙田喜代隆氏および國分友信氏は、社外監査役であります。

当社グループ会社の状況（平成22年9月30日現在）

	会社名	所在地	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
連結子会社	株式会社八木ビル	大阪市中央区	100百万円	100%	不動産賃貸業
	日本パフ株式会社	大阪府寝屋川市	50百万円	100%	化粧用パフおよび外衣製造
	株式会社ヴィオレッタ	大阪市城東区	95百万円	99.75%	編レース製造
	YAGI & CO.,（H.K.）LTD.	香港	11百万香港ドル	100%	繊維製品およびその原料の輸出入販売
	株式会社マルス	大阪市中央区	60百万円	100%	不動産賃貸業

	会社名	所在地	主要な事業内容
非連結子会社	株式会社ソレイユ	石川県加賀市	編レース製造
	日帕化粧用具（嘉善）有限公司	中国浙江省嘉善県	化粧用パフの製造
	譜洛革時（上海）貿易有限公司	中国上海市	繊維製品の販売
	八木貿易（深圳）有限公司	中国広東省深圳市	原料・テキスタイルの販売
	ピーティ サンダン マジュ レスタリ	インドネシア・ジャカルタ	繊維製品の販売
	保定八木化繊有限公司	中国河北省保定市	使用済みペットボトルのフレーク生産
	順平県八順塑料回収有限公司	中国河北省保定市	使用済みペットボトルの仕入・販売

	会社名	所在地	主要な事業内容
関連会社	株式会社ジョイテックス	東京都渋谷区	ニット生地の販売
	山東華発絲綢服装有限公司	中国山東省昌邑市	婦人服等の製造
	濰坊魯発服装有限公司	中国山東省昌邑市	婦人服等の製造
	江西四季社服飾有限公司	中国江西省崇仁県	婦人服等の製造
	ケービー ヤギ ラオ カンパニー リミテッド	ラオス・ヴィエンチャン	スーツの製造